

## 1月の活動内容報告

### ビーバー(BVS)隊



今年はオンラインでビーバー隊の集会在スタートしました。

**1/19** 今年がんばりたいことの発表と宝物発表。なわとびやコマや本よみ、お手伝いなど、スカウトの頑張りたいことをみんなの前で発表しました。そのあとは自分の宝物（大事にしているもの）発表をしてお互いのことを知る機会となりました。そして、入隊者2名！ゲストで来てくれていた年長さんがやっと入隊できる～と制服を着て、誇らしげに「やくそく」と「きまり」の宣誓をしました。※この日の写真は撮れていませんでした(T\_T)

### カブ(CS)隊



**1/10** 初顔合わせは緊急事態宣言期間の活動自粛となったため、久しぶりのオンラインにて、くまスカウト対象

の「月の輪結成式」のみの実施となりました。「月の輪課程」とは、くまスカウトがボーイ隊上進への準備を行うプログラムです。団委員長の新年のあいさつに続き、カブ隊長から月の輪リーダーの任命、その後月の輪リーダーより月の輪章/月の輪リングの授与と進み、月の輪リーダーからの激励がありました。みんな初めて見るネッチリングや月の輪章を見て嬉しそうでした。前日に月の輪ハンドブックと記章/リングを各ご家庭にお渡しして、月の輪リーダーから渡す代わりに保護者から渡してもら



いました。  
**1/11** 前日に続き、前日に続き、第1回の月の輪集会もオンラインで。この日は5人のベンチャースカウトが月の輪コーチとして来てくれました。ブレイクアウトルームで3組に分かれて 組名、役割、連絡網を決め、ハンドブックに沿ってスカウト章/モットー/スローガンや、敬礼/スカウトサインなどクイズを織り交ぜて教わりました。基本動作のおさらいも。途中で先輩スカウトから、カブと違うところ

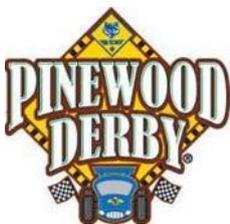
楽しかった事、ジャンボリーでのワッペン交換の話やキャンプの経験などを聞き、月の輪スカウトたちは目を輝かせて聞いていました。

**1/17** オンライン集会。本来この日は、PWD(パインウッドダービー)あすなろ地区(杉並区/中野区)大会でしたが、緊急事態宣言により中止となりました。カブ隊も11月から3回の組集会をかけた取り組みができたので、レースは出来ないけれど、“中野8団PWDデザインコンテスト”を開催。各自、車を見せながら、① 名前、② コンセプト(アピールポイント、気に入っているところ)、③ 作成に苦労したところ、のプレゼンテーション

をしました。みんな様々なデザイン、

色、模様で、個性的で素晴らしい出来でした。みんなで投票して、1-3位を決めました。東京大会は、車だけを持ち寄っての開催が予定されています。

**1/31** オンライン組集会。今年度も残り少なくなってきました。各自カブブックの修了を目指して頑張っていますが、くまスカウトの救急とチャレンジ章の救急博士をクリアすべく、オンラインで取り組みました。ブレイクア



ウトルームで各組に分かれて、まずは組の救急箱の中身についてのキムスゲーム。その後、子供の救急についての基本と、鼻血/切り傷/やけど/貧血などの治療法と止血法について学びました。年に数回は機会を持って覚えないと。知っていることと出来ることは違うからね。

**1/31** 第2回月の輪オンライン集会。今日はベンチャースカウト/ローバースカウト中心に月の輪リーダーとなりスカウト指導に当たりました。まずはちかいとおきてを考える。そ



れぞれ考えられる場面や事例を思い出したり想像したりゲームを通じて考えました。続いて技能訓練として体での計測や、体温/脈拍測定とロープ結びを思い出しながら練習しました。

### ボーイ(BS)隊



**1/17** オンラインで個人面談を行いました。一人あたり 15 分という短い時間でしたが、コロナ禍で活動制限を受けている状況での今の自分の気持ちや、進歩課目の取り組み方、今後の活動に向けての目標について話をしました。学業や部活動との両立を模索した1年でしたが、来年度も皆が活動を継続してくれるとのことで、安心しました。



**1/31** オンラインで集会を行いました。コロナ禍における活動について、奥島総長と村山県連盟コミッショナーからのメッセージを聴きました。その後は班集会として、来年度の活動に向けてやってみたいこと、今自分に足りない技能を話し合いました。後半は、4月から上進スカウトを迎えるにあたり、デンコーチ経験者からカブ隊のスカウトの様子や3月実施予定のキャンプでの月の輪を歓迎するプログラムの検討をしました

### ベンチャー(VS)隊



1月はカブ隊月の輪活動の支援を行いました

### 1月のスカウト進歩情報

BVS: M. S. さん 1年章

# ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

あすなろ地区(中野区・杉並区)では毎年2月11日に翌年度のスカウト・指導者登録手続きを行います。日本連盟への登録手続きはオンラインシステムで行いますが、地区はその登録のアシストをすると同時に、各団の各隊がスカウトのために適切な教育プログラムを計画・実施しているか、各隊の指導者の配置が適切になされているか、指導者は必要な研修を修了しているか、団委員会は適切な団の運営をしているか、ということ審査します。今年も同日に行われ、伊佐野団委員長が継続登録手続きを済ませました。2020-2021年は小倉栄し、沼上し、晶子しが地区役員に就任して、団の仕事以外にも地区の仕事をしています。

なお、緊急事態宣言下では、団の会議も地区の会議も全部オンラインで行われています。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



## リーダーの活動

- 1/10 団会議
- 1/11 地区登録説明会
- 1/24 団会議  
(登録準備)
- 1/28 地区委員会
- 1/19 東連指導者養成委員会
- 1/23 地区隊長面談
- 1/30 地区隊長面談
- 1/25 地区ミッショナー会議
- 1/31 地区隊長面談

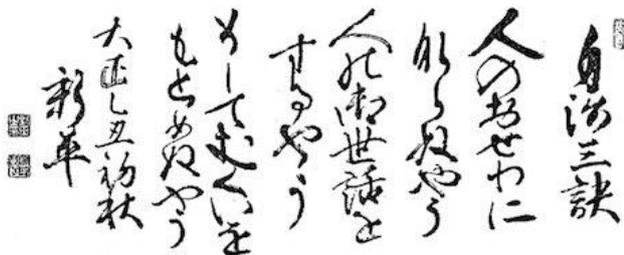
\*活動の写真是ホームページにアップされています。  
\*個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。(なかなか更新できないでいます。ご協力してくださる方募集中)  
<http://bsn8.world.cocacn.jp/>

## スカウト互知識

### 「自治三訣(じちのさんけつ)」

現在のボーイスカウト日本連盟の前身となる『少年団日本連盟』が1922年(大正11年)に発足した時、その初代総裁として、当時東京市長であった岩手出身の後藤新平男爵が就任しました。各種大臣や総裁などを歴任した政治家で、関東大震災の際には、直後の応急処置とその後の復興計画に腕を振るった人物です。後藤の描いた復興プランによって、現在の東京の骨格が作られたと言えます。そんな後藤が総長として当時の少年団に向けた言葉に、次のものがあります。

人のお世話にならぬよう  
人のお世話をするよう  
そして報いを求めぬよう



後藤自身のモットーでもあったこの言葉、まさにボーイスカウトのちかいそのものです。「いつも他の人々を助けます」「自分のことは自分でします」「進んでよいことをします」ほとんどカブスカウトですね。ボーイ隊以上の「ちかいとおきて」、カブスカウトの「やくそくとさだめ」は、大人にとっても指針とできる言葉です。

来年は日本のボーイスカウト発足100周年になります。